

第7回ニワ里ねっとバスツアー

おわりこくふ  
銀杏舞う尾張国府のまち「稲沢」への旅

～尾張国分寺跡発掘調査現場と秘仏を訪ねる～

スペシャル案内人：北條献示先生(稲沢市教育委員会)

◆スタッフおすすめポイント

その1.尾張国分寺跡の発掘調査現場を見学させていただきます。生の発掘調査現場が見れるまたとないチャンスです。

その2.重要文化財の仏像や、国府宮神社の岩境(いわくら)を特別に見学させていただきます。

その3.稲沢市内に残る多くの古代寺院に訪れます。色とりどり鮮やかな建築物は圧巻！！

普通のツアーではあまり行かない隠された歴史の舞台をご紹介します。

その4.はじめに訪問する稲沢の祖父江町は「ギンナンの里」。11月が見頃です。

その5.ツアー講師は、稲沢古代史の代表的研究者である北條献示先生。他では聞けないお話が聞けます。

◆見学工程表(予定です)

出発地① 青塚古墳(7:30)

出発地② 名鉄江南駅(8:00)

1.祖父江町郷土資料館

2.尾張国分寺跡

：発掘調査現場を見学！

3.船橋安楽寺

4.埋蔵文化財収蔵庫

：収蔵文化財を特別に見せて頂きます。

5.お昼ご飯「日本料理 美寿吉」

6.性海寺(大塚古墳)

7.長光寺(六角堂：鉄地藏：美濃路)

：国指定文化財の鉄地藏を見学。

8.奥田安楽寺

9.尾張大国霊神社(国府宮)

：磐境(いわくら)見学予定。

到着地①名鉄江南駅(18:00頃)

到着地②青塚古墳(18:30頃)

性海寺 多宝塔

◆日時：平成25年11月27日(水)

※雨天決行。雨天時はコースを一部変更する場合があります。

◆料金/一般：7,000円

/ニワ里ねっと会員：6,500円

(昼食代、保険料等込み)

◆定員/限定24名(先着順)

※増員はありませんので、申込はお早めに。

◆申込方法

※11月20日(水)までに青塚古墳ガイダンス窓口で参加費を添えてお申し込み下さい。電話(070-5365-1375)およびメール([tabi@niwasato.net](mailto:tabi@niwasato.net))での予約も受付ます。ただし、料金は11月20日(水)までに青塚古墳ガイダンス施設窓口でお支払い頂くようお願いいたします。申込の際、出発地と帰着地(青塚古墳もしくは江南駅)をお伝え下さい。

長光寺 鉄地藏(写真は稲沢市教育委員会)

問い合わせ先：NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク事務局

TEL:070-5365-1375

受付窓口：〒484-0945 犬山市青塚22-3 青塚史跡公園内ガイダンス施設

(午前9時～午後5時まで受付、月曜日および月曜が休日の場合は翌日が休業)

HP：<http://niwasato.net>



スタッフの独断と偏見による

# バスツアーの見所ご紹介！！

みなさんこんにちは。ニワ里ねっと職員のナナイロケダママシ(仮名)です。今回、11月27日(水)に第7回バスツアーを開催させていただきます。「えっ、平日なんだ・・・。」と思った方...、そうです、今回のツアーは平日に行く予定なのですが、それは今回、国史跡「尾張国分寺跡」の発掘調査現場を見学させて頂くというスペシャルな内容であるためです。平日はお勤めという方も、お休みを取って頂く価値が十分あると思います。座席数も少ないので、お早めにお申し込み下さい！



写真1:祖父江町郷土資料館

## 1.祖父江町(そぶえちょう)郷土資料館

### ◆～ギンナンのまち祖父江！

祖父江町はギンナンの生産量が日本一で、木曾川の傍流に囲われた町として知られおり、市内には輪中や水屋といった建物が築かれていたそうです。毎年秋には「そぶえ黄葉イチョウまつり」というお祭りが開かれており、バスツアーの日も会期中とのことです。今回、時間の都合上残念ながらお祭りの会場には立ち寄りませんが、車窓からイチョウの紅葉を見ていただければと思います。

郷土資料館は、そんな祖父江町にある資料館です。小さな資料館ですが、祖父江町の歴史を紹介する資料が所蔵されています。私のオススメは、祭事「島本新田の虫送り」に使われているシャネモリ様人形です。この人形、同じく虫送りを行っている犬山市で使われているものは、30cmくらいの小さいものなのですが、島本新田のものはとにかく巨大です。えっ・・・なにこれ・・・、ちょっとおおきすぎでしょう・・・というくらい巨大です。必見！



祖父江町のキャラ「ぎんこなっちゃん」

虫送り(むしおくり)とは・・・農作物害虫を追い払うことを願って行われる伝統的なお祭りです。春～夏にかけての時期に行われます。犬山市内でも前原をはじめとする多くの地域で今も行われています。稲の怨霊とされる斎藤実盛の人形(通称サネモリ人形)がお祭りにしばしば登場します。

## 2.尾張国分寺跡(おわりこくぶんじあと)

### ★発掘現場を含む

### ◆～稲沢は古代尾張の中心地！尾張国分寺跡

741(天平13)年に聖武天皇は国ごとに国分寺(こくぶんじ)と国分尼寺(こくぶんにじ)を建てることを命令し、尾張国では稲沢市に国分寺が建てられました。国府や国分寺がおかれた稲沢市は、古代尾張の中心的な場所として栄えていた尾考えられます。尾張国分寺は884(元慶8)年に火災で焼失し、国分寺の役割は愛知郡の願興寺(名古屋市が推定地だそうです。)に役割が移ったと伝えられています。

現在矢合町にある国分寺は臨済宗のお寺で、鎌倉時代に創建されたものです。もともと国分寺は、矢合町椎ノ木付近にあったとされています。尾張国分寺跡で行われた発掘調査の結果、現在までに金堂跡や塔跡などが確認されており、東西約200m、南北約300m以上の大寺院であったことがわかっています。現在、国分寺跡は石碑と立て看板が残るのみとなっているのですが、塔の跡に、本物の礎石(そせき)を見学することができます。遺跡は平成24年、国の史跡に指定されています。本年度は遺跡の北側の発掘調査を行う予定とのことで、



写真2:国分寺の礎石

国分寺(こくぶんじ)とは・・・聖武天皇が天平13(西暦714)年に仏教によって国を平和におさめることを目的に、日本各国に建立を命じた寺院のことです。

国分寺の多くは国府の区域内かその周辺においたとされています。国分寺の総本山は東大寺です。愛知県には尾張国分寺(稲沢)と、三河国分寺(豊川)があったとされています。

今回特別に現場を見せて頂けます。現場で何がみれるかは当日行っ  
てのお楽しみです。ご期待下さい。

※雨天の場合は発掘調査も中止になりますので、発掘現場見学は中止  
になります。また、足下の状態が悪ければ、尾張国分寺跡の見学を行  
わない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

### 3.船橋安楽寺(ふなはしあんらくじ)

#### ◆～国分寺を守る安楽寺の仏様たち

尾張国分寺の四方には、平楽寺・正楽寺・長楽寺・安楽寺という四  
楽寺が建てられたとされています。船橋安楽寺はそのひとつ、国分寺  
の支院として建設されたと考えられている臨済宗のお寺です。寺の南  
は三宅川に面しています。船橋安楽寺には、平安後期に作成された本  
尊の木造十一面観音立像をはじめ、木造釈迦如来坐像、木造阿弥陀  
如来坐像など3点の重要文化財の他、県の指定文化財も数多く保有し  
ています。この仏様たちは普段未公開なのですが、ツアー当日は特別  
に数点を見せて頂ける予定です。

### 4.稲沢市埋蔵文化財収蔵庫

#### ◆～国分寺跡出土の古代瓦

稲沢市美術館の南にある稲沢市埋蔵文化財収蔵庫です。稲沢の発掘  
調査最前線基地といえる場所です。もちろん普段は立ち入れません。  
こちらでは、尾張国分寺の発掘調査で見つかった国分寺の瓦を見せて  
頂ける予定です。

### 5.性海寺近くの「美寿吉(みずきち)」にてお昼ご飯

日本料理「美寿吉」にて、お昼ご飯の予定です。上品な味の小料理  
屋さんです。2階の畳の席が会場予定です。

### 6.性海寺(しょうかいじ)&大塚古墳

#### ◆～室町の秋を感じる性海寺

性海寺は真言宗のお寺です。空海によって819(弘仁9)年に創建され  
たと伝えられていますが、平安時代に当時の豪族長谷部氏に創建され  
た可能性が高いそうです。性海寺には、本堂・宝塔・多宝塔・五輪塔  
が国の重要文化財に指定されているほか、県や市の指定文化財もた  
くさん所蔵しています。また、寺の北側には大塚古墳が隣接してい  
ます。

建物の中でも、室町時代に作られた「多宝堂」は、壁面が赤く塗ら  
れており、とても美しい建物です。内部には愛染明王がまつられてい  
るとのことです。何百年も前に建てられた建物(しかも木で)が、今  
までこんなに奇麗な状態で残っていることに、鳥肌がたちました。お  
寺の中において古代の建物に囲まれていると、古代にタイムスリップした

国府(こくふ)とは・・・日本の奈良～平安時代に、地方行政の単位で  
ある「国」の行政官である国司が政治を行う施設(国庁)が置かれた都市  
のことです。8世紀頃の尾張国には、海部・中嶋・葉栗・丹羽・春  
部・山田・愛知・知多の八郡があつたとされています。稲沢市は中嶋郡  
にありました。



写真3:安楽寺境内風景



写真4:国分寺跡出土瓦

(写真は稲沢市教育委員会のもの)



写真5:お昼ご飯の一例



写真6:風情ある性海寺

ような気分になります。秋の紅葉の季節ですので、写真撮影によい場所かと思えます。

### ◆～稲沢市内最大の古墳、大塚古墳

性海寺に隣接する稲沢市内最大の古墳。市の指定文化財です。古墳のすぐそばには三宅川が流れています。高さ約5m、直径約40mで周溝を伴う古墳時代中期頃の円墳です。三宅川の灌漑権・水運交通権を掌握した豪族が眠っていると考えられています。内部構造は青塚古墳と同じで、よくわかっていないそうです。この古墳には、階段がつけられており、登頂することができます。



写真7:大塚古墳の墳頂から

## 7.奥田安楽寺(おくだあんらくじ)

### ◆～行基ゆかりの奥田安楽寺

奥田安楽寺は749(天平勝宝元)年に行基が創建し、13世紀に再興され、1748(延享5)年に現在地に移ったとされるお寺です。国の重要文化財である木造阿弥陀如来および両脇侍坐象は、和様の仏像彫刻様式「定朝様」の尾張地方代表作品です。ツアーでは、この三尊像様を特別に見せて頂ける予定です。



写真8:安楽寺の門構え

## 8.長光寺(六角堂:鉄地蔵:美濃路)

### ◆～室町時代の六角堂

長光寺は清洲駅の北1km付近の場所にある、臨済宗のお寺です。1161(応保元)年、平頼盛の寄進により創建されたと言われていました。室町時代後半に作られた地蔵堂(通称六角堂)に安置されている本尊は鉄造地蔵菩薩立像で、別名「汗かき地蔵」と呼ばれています。この地蔵様は、1235(文暦2)年につくられた珍しい鉄造の地蔵様です。汗かき地蔵は変事があるときに汗をかくという伝説があるそうです。ツアーでは、この汗かき地蔵様を特別に見せて頂ける予定です。



写真9:六角堂

### ◆～美濃路と岐阜街道の分岐点、

#### 四ツ家追分(よつやおいわけ)道標

お寺の入り口に、「四ツ家追分道標」があります。これはもともと、寺北西の四ツ家の追分にあったものだそうで、美濃路と岐阜街道の分岐点を示しています。1819(文政2)年に建てられたものです。今に残る美濃路を当日見学しましょう。

追分(おいわけ)とは・・・街道の分岐点をさす言葉です。犬山市にも、木曾街道と犬山街道の分岐点である「楽田追分」が残っています。

## 9.尾張大国霊神社(国府宮)

### ◆～いわずと知れた稲沢の象徴「国府宮」

尾張大国霊神社(おわりおおくにたまじんじゃ)は、尾張総社ともいわれ、崇神天皇時代の創建と伝えられています。神社に隣接する松下町一帯が尾張国府の所在地として推定されていることから、国府宮(このみや)とも呼ばれています。神社には国土の神、尾張大国霊神・大御霊神が祀られています。毎年2月には「はだかまつり」が行われることで有名です。神社本殿は流造、拝殿は切妻造、全体の様式(建物



写真10:道標

の配置)は尾張式といわれるもので、本殿・渡殿・祭文殿・東西の廻廊・拝殿・楼門と建ち並んでいます。

今回のツアーでは、特別に国府宮の磐境(いわくら)を見せて頂ける予定です。まさにツアーの最後を締めくくるにふさわしい見学地といえます。

いかがでしょうか！今回のツアーでしか見せて頂けないものもたくさんありますので、内容はかなり充実したものになっていると思います。ぜひみなさんご参加下さい。

なお、見学地は一部変更する場合があります。最新の状況を知りたい場合は、ニワ里ねっと事務局までお問い合わせください。

国府宮の磐境(いわくら)・・・  
国府宮神社本殿に接する形で磐境と呼ばれる五個の大きな自然石が円形に立ち並んでいます。これは、今日のように社殿を建てて神様をお祀りする以前の最も古い原始的な祭場で、国府宮がこの地に古くより創始されていたことを物語っています(国府宮神社HPより)。

.....